

はじめに

本報告書は、内閣府の「平成 30 年度 アジア・太平洋輝く女性の交流事業」として実施した調査結果、シンポジウム、女性起業家のビジネス現場への視察や意見交換の成果をまとめたものです。

2030 年に向けて国連で採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs) の中では、第 5 目標として“ジェンダー平等を実現しよう”という目標が掲げられています。先ごろ、私が参加した女性の活躍推進に関する国際会議でも、女性の起業家支援が非常に重要であるとの視点が強調されました。我が国としても、このような世界の先進的な流れに沿って、積極的な支援がこれまで以上に求められております。

アジア・太平洋輝く女性の交流事業は、平成 28 年度より始まりましたが、これまでは起業することへ志を持つ女性達に、どのようにしたら起業できるかについて、議論を通じて多くのヒントや提言を伝えてきました。3 年目を迎えた今年度は、更に進化し、特に“社会的課題を解決するための手段・方法としての起業”を目指した女性起業家に着目すると同時に、支援団体が彼女達をどのように支援しているのかについて、現地調査をした上、その具体的な事業についてシンポジウムで発表していただきました。女性起業家、支援団体、一般参加者の皆様が直接、実践的な情報共有や意見交換を行う機会を持てたことは、きわめて有意義なことと思います。

特に今回のシンポジウムでは、これらの貴重かつ先進的な起業体験の共有のみならず、さらなる発展を目指し、その具体化のためのデジタル技術等を積極的に活用した国際的連携のネットワークを形成することの重要性にまで議論が発展しました。

本報告書では、アジア・太平洋地域でご活躍の女性起業家が、海外進出をした際に直面した課題や克服の体験談が多数取りまとめられていると同時に、女性起業家支援団体が提供する様々な支援メニューが紹介されています。女性起業家が海外でビジネスをする際、先輩からのアドバイスや支援団体の後押しを受けることは、新たな可能性の広がりにつながります。本報告書が、海外進出を検討されている方、海外の女性起業家支援団体とのネットワーク構築に関心がある方に、少しでも示唆や助言を提供できるものとなれば幸いです。

末筆となりましたが、女性起業家や支援団体の皆様には、本事業にかかる現地調査のご協力、シンポジウムへのご出席、事業活動現場への視察等のため、ご多忙の中、貴重な時間を割いていただき、また、起業のノウハウを惜しげもなく提供していただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

2019 年 3 月

アジア・太平洋輝く女性の交流事業調査検討委員会
委員長 大沢 真知子

